

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大0.04細胞/ml、アカシオ サンガイネアが最大42.5細胞/ml確認されました。このうちコクロディニウムについては、現在確認されている細胞数は僅かですが、近隣海域にて当プランクトンによる赤潮(最大数千細胞/ml)が確認されており、当海域での赤潮発生の恐れもあるため、海況や飼育魚の状態に十分注意して下さい。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.2細胞/ml、最大ギムノディニウム カテナータムが最大0.14細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

| 採集地点 採水時間 | 水深 | 水温 | 塩分 | 溶存酸素 | コクロディニウム ポリクリコイデス | アカシオ サンガイネア | アレキサンドリウム属 | ギムノディニウム カテナータム |
|---|------|------|-------|--------|----------------------|----------------|------------|--------------------|
| | (m) | (℃) | (psu) | (mg/l) | | | | |
| 藻津①(別図⑨) 採水時間 09:33 透明度 - m | 5.0 | 17.0 | 34.5 | 6.5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 大島中央①(別図⑤) 採水時間 09:45 透明度 - m | 10.0 | 17.1 | 34.6 | 6.4 | 0 | 0.03 | 0 | 0.12 |
| 小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 09:52 透明度 - m | 10.0 | 17.2 | 34.6 | 6.7 | 0 | 0.01 | 0 | 0 |
| 栄喜奥(別図②) 採水時間 10:11 透明度 - m | 5.0 | 17.2 | 34.5 | 6.4 | 0 | 42.5 | 0 | 0.14 |
| 青瀬山(別図③) 採水時間 10:20 透明度 - m | 4.0 | 17.2 | 34.4 | 6.8 | 0.02 | 0.14 | 0.2 | 0.1 |
| 弘浦②(別図①) 採水時間 10:40 透明度 - m | 10.0 | 17.1 | 34.5 | 6.6 | 0.04 | 0.15 | 0 | 0.07 |